

## 各国内及び各国間の不平等を是正する

法文学部 教授 宮本 恭子

格差・貧困問題が地球規模での課題となっている。特に子供の貧困問題への対策と共生社会の実現は喫緊の課題であり、以下の2つの実践に取り組んでいる。

### (1) 地域共生社会の実現に向けた実践的教育・研究

教育では、「格差・貧困」に関する高校生への教育(倉吉東高校)、「子どもの貧困」に関する高校生への教育(出雲高校SGセミナー)を行っています。

人権教育・啓発では、人権教育・部落差別解消に関する行政職員研修(大分県、大阪府、広島県、島根県)を開催しています。また、外国人労働者の人権問題や社会統合に関する研究も行っています。本研究は、地域、行政機関、民間組織との連携体制の構築などの成果につながっています。

### (2) 子どもの貧困に関する研究・啓発活動

島根大学法文学部法経学科と人間科学部の教員でプロジェクトチームを結成し、島根県と協力しながら「島根県の子どもの生活実態調査」を実施しています。本プロジェクトチームは、子どもの貧困、子どもの健やかな育ちを支援するための各種の提言、実践を行うシンクタンク機能を担っています。

また、中山間地域や過疎地域での子どもの貧困研究の知見を活かし、広島県自治体職員研修(中山間地域の子どもの貧困)など、島根県内外で子どもの貧困に関する講演会を開催しています。これらの取り組みは、“見えにくく捉えづらい”といわれている農村部の子どもの貧困の実態把握と対策などの成果につながっている。

さらに、ドイツの子どもの貧困対策の先進的な取組をしている民間団体

「ALCHE」の現地調査を行い、日本の子どもの貧困対策に活かす取組を行っている。



シンポジウム



アルフェ理事長(左)